

2019年11月29日

2021年度入学者選抜における「英語科目」の扱いについて（変更）  
（2020年度実施、2021年4月入学）

東京外国語大学

既に報道で伝えられたとおり、2020年度からの英語民間試験活用のための「大学入試英語成績提供システム」の導入が、2024年度以降に延期されることになりました。

これを受け、本学が2018年7月に公表した、2021年度入学者選抜における「英語科目」の扱いについて、以下のとおり方針を変更します。

学部の前期及び後期日程入試において、文部科学省公表（平成30年3月）のCEFR対照表で「A2」以上を取得していることを出願要件にすることとしていましたが、これを取りやめます。

ただし、従来から出願要件として利用していた、推薦入試、帰国生等特別推薦入試、私費外国人留学生入試、日本留学試験利用入試及び海外高校推薦入試については、本学が指定した資格・検定試験の結果の提出が必要です。

なお、既に公表しているとおり、本学では大学独自に英語4技能を測るため、従来の国際日本学部に加え、2021年度入試より、言語文化学部及び国際社会学部の一般選抜試験（前期日程）において、英語スピーキングテスト（BCT-S）を試験当日に学内で実施します。

\* 「BCT-S」とは、本学とブリティッシュ・カウンシルが共同で開発したスピーキングテストです。